

大澤 建・中川賢一

デュオリサイタル

2018 年 9 月 19 日 (水)

19 時開演 18:30 開場 会場：マレキアーレ

シユーベルト

「冬の旅」



## 『冬の旅』の成立

「ある時期、シューベルトは塞ぎ込んでいて、なぜか狼狽えているようだった。理由を尋ねても「いや、じきに聴けばわかることだよ」としか言わなかった。ある日、彼はわたしに「今日、ショーバーのところへ来たまえ。きみをゾッとさせるような歌曲集を歌うから。きみの意見にちょっと興味があるんでね。これまでのどの曲よりもずっしりした手応えがあるんだ。」と言った。そしてその晩、シューベルトは震える声で『冬の旅』を全曲、弾き歌いしてみせた。この曲の陰鬱な雰囲気には皆が困惑してしまい、ショーバーもたった一曲だけ「菩提樹」が気に入ったと言った。シューベルトはこれに対し「ぼくは他のどの曲よりもこの歌曲集が気に入っているし、そのうちきみらもそうなるよ」と答えただけだった。

そして予言通りだった。我々は皆、宮廷歌手フォーグル（バスバリトン）の見事な歌唱を聴いてすぐにこれらメランコリックな曲の醸し出す印象に心奪われたのだった。」  
(ヨーゼフ フォン シュパウンの回想「フランス シューベルトとの交友について」(1858年)より。)

★★★★★★★★★★★★★★★★

マレキアーレの親密な空間はこの作品が初めて演奏された「シューベルティアーデ」の例会の規模にほぼ等しく、『冬の旅』が生まれた瞬間に想いを馳せながらお聴き頂けることでしょう。

我々の演奏にどうぞご期待ください。



大澤 建　おおさわ　けん　バス

日本大学芸術学部音楽科にて、ホルンと声楽を専攻後、二期会オペラスタジオを優秀賞を得て終了。即座に多くの二期会公演でソリストとして起用される。小澤征爾氏に見出され、新日本フィルハーモニー交響楽団定期「ファウストの効罰」の独唱を務めたのを機に渡独し、オスナブリュック市立劇場の専属第一バスソリストとして契約。傍らドイツ各地の劇場に客演し、好評を得た。1997秋に帰国後は日生劇場、二期会、びわ湖ホール、新国立劇場、東京フィルハーモニー交響楽団の定期など、数々の公演に招聘され活躍。

リートオラトリオに加え、新作初演も多く、共演者、作曲家の信頼も築い。二期会会員。



中川賢一　なかがわ　けんいち　ピアニスト・指揮者

桐朋学園大学音楽学部でピアノと指揮を学び、卒業後、ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ科首席修了。1997年オランダのガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。帰国後は、ソロ、室内楽、指揮で活躍する他、国内外の様々な音楽祭に出演。NHK-FMなどに度々出演、新曲初演多数。ダンスや朗読など他分野とのコラボレーションも活発。指揮者として、東京室内歌劇場、東京フィル、広響、仙台フィル他と共に。東京フィル、札響、水戸室内管等ではピアノ演奏とトークのアナリーゼを展開し好評を博す。現代音楽アンサンブル「アンサンブル・ノマド」のピアニスト、指揮者。（一財）地域創造公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。<http://www.nakagawakenichi.jp>

【会場のマレキアーレご説明】　所在地： 静岡県浜松市浜北区小松 4310-32 番地敷地内

\*JR 浜松駅から徒歩 1 分の遠州鉄道新浜松より 20 分の小松駅下車、徒歩 5 分。浜松駅から車で 30 分。浜松西インターより 12 分。駐車場は会場より徒歩 1 分の横田整形外科 053-586-2025 をご利用下さい。定員 40 名程度

お問い合わせ みどり音楽企画 ☎ 090-7049-1809 横田 FAX 053-587-9985

次回公演：9/22 土 今田 篤ピアノリサイタル、10/27 土 松岡 淳ピアノリサイタル、10/31 水 務川慧悟ピアノリサイタル